

施設名	多度津港旧外港東防波堤									
所在地	香川県 仲多度郡多度津町									
管理者等	香川県									
施設種類・分野	港									
施設概要 (明治期との関連含む)	明治44年竣工の石積み防波堤である。竣工当初の規模は延長327mであったが、現在は先端側約170mが現存している。外側が花崗岩間知石の布積み、内側が花崗岩間知石の谷積みと、異なる形態を示しており、明治後期の近代港湾技術の変遷について知ることができる貴重な事例である。(文献1から引用)									
築造時期	明治後期		時期詳細	明治44年						
関連人物	-									
関連企業	-									
トピックス (特徴的エピソード)	多度津港は明治時代まで県内最大の港であり、拡張のために 建設された旧外港東防波堤には花崗岩の石積構造が現在もよく残っている。(文献2から引用)									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-	
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1: 香川県の近代化遺産-香川県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書-(香川県教育委員会、2005年3月)</p> <p>文献2: 土木学会 選奨土木遺産解説シート (<a href="http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/473">http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/473</a>)</p>									
管理者等のHP (URL等)	香川県 <a href="http://www.pref.kagawa.jp/kowan/index.html">http://www.pref.kagawa.jp/kowan/index.html</a>									